

算 数

東 京 書 籍
大 日 本 図 書
学 校 図 書
教 育 出 版
啓 林 館
日 本 文 教 出 版

令和5年度

中高・飯水地区小学校教科用図書採択研究協議会

種目（算数）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい算数）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的活動を重視した展開で構成し、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう、繰り返し学習できる配慮がされている。 ・ 数学的な見方・考え方を、言語化して明示的に価値付け、既習と統合し発展的に考える学習展開が徹底されるよう配慮されている。 ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学んだことを振り返り生活や学習に活用しようとする態度が育つよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童の論理的な思考・表現の場として「算数マイノート」を1年生の学習の後半から位置付け、発達段階に応じて自分や他者の考えを基に、数学的な見方・考え方を働かせて追究できるよう配慮されている。 (2) 1単位時間の最後に「それなら」を設け、1単位時間の内容を振り返り、発展的に考え、次時の学習内容を創造できるよう配慮されている。 (3) 説明する場面や話し合う場面が多く位置付けられ、対話的・協働的に問題解決ができるように配慮されている。 (4) 単元間に復習問題「おぼえているかな？」を設け、既習事項や学習の継続性が分かるように配慮されている。 (5) ページ番号を白抜き文字にしたり、色数を削減し視覚的な刺激を軽減したりしている。また、重要事項を枠で囲んで明確に区別するなど、重要事項に着目できるようになっている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各領域や単元の配置時期を工夫し、基礎的・基本的な内容を段階的に指導できるよう配慮されている。 (2) 第6学年の最終単元の中に、「ふりかえろう『領域名』の目」を設定し、数学的な見方・考え方に着目して6年間の学習の振り返りができるように工夫されている。 (3) 数学的な見方・考え方を、単元末の「つないでいこう算数の目」で価値付けたり、「いかしてみよう」「おもしろ問題にチャレンジ」で日常生活や算数・数学の世界で生かしたりする場を設定できるよう配慮されている。 (4) 単元末では、学習した内容の定着を図る「たしかめよう」が設けられ、知識及び技能の習得をいっそう確実なものにする問題量が確保できるよう配慮されている。 (5) 実物の写真を使用した挿絵が多く用いられ、実生活との関連を意識しやすいよう工夫されている。 (6) 1単位時間ごとにまとめが位置付けられ、知識及び技能に加えて、数学的な見方・考え方についても振り返られるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元、領域、他教科等とのつながりを可視化し、統合的・発展的な学びが展開されるよう配慮されている。 ・ 挿絵や配色等、視覚的に配慮された構成になるよう工夫されている。

種目（算数）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<p style="text-align: center;">大日本図書（新版 たのしい算数）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 練習問題や様々な種類のデジタルコンテンツを設けることで、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る配慮がされている。 ・ 問題提示の工夫や数学的な見方・考え方を働かせる場の設定など、児童の思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫がされている。 ・ 算数が社会で生かされていることを実感しながら主体的に学習に取り組めるように、児童の興味・関心を高める配慮がされている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 問題を右ページ、解決方法を次ページに配置する構成を随所に取り入れ、思考・表現する活動が行えるように配慮されている箇所が多い。 (2) 児童が自ら問題を見いだせるような単元の導入コーナーを設けるなど、主体的に学習に取り組めるようになっている。 (3) 日常生活に関連した題材で児童の興味・関心を喚起したり、学習したことを生活の中で活用する問題を取り入れたりし、現実の世界と関わり合うように配慮されている。 (4) 第2学年以上は学年一冊の合本にしたり、前学年までの学習内容を参照できるデジタルコンテンツを設けたりすることで、振り返りや学び直しがしやすいようにしている。 (5) さし絵や図表などが見やすいように要素を絞ったりタッチを統一したりと特別支援教育の視点にも配慮されており、植物インクの使用や表紙の耐久性、製本の安全性にも配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 第2学年以上は学年一冊の合本とし、学習内容を見通した計画や指導ができるよう配慮されている。また、第1学年では1巻を新設し、初期の学習に特化した指導がしやすいよう配慮されている。 (2) 領域別単元カラーを設定し、目次や各単元ページを色分けすることで、学習のつながりを意識して系統的な指導がしやすいように工夫されている。 (3) 巻頭に「算数の大切な考え方」のページを新設し、1学年後半から始まる「ひらめきアイテム」の項で、数学的な見方・考え方を蓄積しながら各単元の学習に生かすことができるよう工夫されている。 (4) 単元末の「たしかめ問題」では、基礎的・基本的な知識及び技能を再確認できたり、発展的な学習に取り組めたりする問題が設定されるなど、個に応じた指導ができるよう配慮されている。 (5) 意味が捉えにくかったり、異なる意味と捉えたりするようなあいまいな表現は避け、丁寧で正確な表記に配慮されている。 (6) 第2学年以上の全時間に学習のめあてが設定され、本時のまとめがめあてと対応していたり、練習問題と併せて、自己評価をしながら学習が進めたりできるように配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決の流れに重点を置き、数学的な見方・考え方を働かせながら思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫されている。 ・ 領域別に定められた配色により、単元の系統性を意識して指導できるよう配慮されている。

種目（算数）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>	<div style="text-align: center;">学校図書（みんなと学ぶ 小学校算数）</div>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的内容に重点をおいて構成し、概念や原理の習得ができるように配慮されている。 ・ 展開の基本を問題解決学習におき、論理的思考力の育成が図れるように配慮されている。 ・ 生活場面から課題を提示し、それを数理的に試行していく学習を通して、数理的な処理のよさが実感できるように工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 数学的な見方・考え方をキャラクター化することで、児童が見方・考え方を意識しやすくなるようになっている。 (2) 単元の流れを問題発見から始めながら解決し、新たな疑問を明示することで、学習サイクルが明確になるよう工夫されている。 (3) 単元の導入では「？を発見」を設け、日常の場면을算数で捉えることを通して、新しい課題に主体的に取り組む態度を育成することができるようにしている。 (4) 巻末に学習内容の定着を図るための「ほじゅう問題」、応用的・発展的な課題を解決する「深めよう」を掲載することで、個々の習熟の程度に対応できるよう配慮されている。 (5) 判型をA B判とすることで紙面が整理され、教科書上で作業する際も広く使えるように配慮されている。また、紙面の素材にも配慮がされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各学年の指導内容を詳細に分析し、基礎的・基本的な内容を明確にして、系統的・発展的な配列になるよう配慮されている。 (2) 目次に、関連のある既習単元や、次につながる単元を明示することで、学年間や学年を越えた系統的内容が見えるように配慮されている。 (3) 多様な解決方法を提示し、一人一人の考えを大切に学習ができるようにしたり、問題作りや作品作りなどの活動を通して、個に応じた数学的活動ができたりするようになっている。 (4) 学習内容を、数学的な見方・考え方をベースにまとめることによって、異なる領域の内容でも同じ見方・考え方をしていることに気づき、領域を超えて理解が深められるように配慮されている。 (5) イラストで話し合い場面を挿入し、意識的に対話的な学びにつながるよう促したり、解決の決め手になる挿絵や作図の場面で道具の使い方が分かる連続写真を入れたりするなど配慮されている。 (6) 各学年末にパフォーマンス課題及びパフォーマンス評価を位置付け、学びの深まりを評価する場面を設けるとともに、児童による自己評価も合わせてできるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働かせる数学的な見方・考え方を具体的な例によって示すことで、児童が常に意識して使えるように工夫されている。 ・ 日常の事象を算数の目で捉える場面を取り上げ、課題に主体的に取り組む態度が育成できるよう配慮されている。

種目（算数）

<p>採択基準</p> <p>発行者名</p>	<p>教育出版（小学算数）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しく学ぶことと既習事項を結び付け、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 ・ 数学的な表現を相互に関連させながら、言語活動を通して数学的に考えたり表現したりする力が育成されるように配慮されている。 ・ 単元で学習したことの活用機会を設け、算数を学ぶ意義を実感できるように工夫されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「たしかめ問題」や「ステップアップ算数」を設け、発達段階に適した反復練習が行えるようにし、児童がゆとりをもって学習活動に取り組めるよう配慮されている。 (2) 数学的活動の過程を「はてな？→なるほど！→だったら！？」という問いの連続で構成し、児童の主体的な学びが実現されるよう工夫されている。 (3) 単元導入の「きっかけ」ページでは、日常生活のイラストや実場面等、身近な場面から問題を発見し、算数の問題として取り上げ、目的意識をもって数学的活動に取り組めるよう工夫されている。 (4) 単元のまとめの問題には、問題ごとに学習内容のページが記され、学習内容を繰り返し学習できるよう配慮されている。 (5) 児童が読みやすいよう鮮明な印刷がされており、第2～4学年は分冊にするなど身体的な負担についても配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 系統性や個々の習熟の程度などを考慮し、既習事項を活用したり統合したりして、学習内容や数学的な見方・考え方を関連付けて学習指導できるよう配慮されている。 (2) 基礎的・基本的な内容では、既習事項を振り返りながら無理なく学習が進められるよう配慮されている。 (3) 「つながるミカタ」や「つながるミカタプラス」を設け、数学的な見方・考え方を顕在化し、統合的・発展的に考察できるよう配慮されている。 (4) 異なる領域の学習内容を相互に結び付けた「学びのマップ」や、発展的な学習内容を掲載した「算数ワールド」を位置付け、個に応じた指導に生かせるよう配慮されている。 (5) 作業的・体験的な活動の場面では写真を用いて動機付けしたり、作図の仕方では、連続写真を用いて手順を示したりして、絵や写真が指導に生かせるよう配慮されている。 (6) 授業のまとめは、知識及び技能だけではなく、問題解決を通して働かせた数学的な見方・考え方も振り返り、「なるほど！」の吹き出しを用いて児童の言葉で表されるよう工夫されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が問いをつなげながら学習を進められる構成にするなど、「問い続ける力」が育まれるよう工夫されている。 ・ 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるよう配慮されている。

種目（算数）

採択基準	発行者名 啓林館（わくわく算数）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が主体的に算数を生活や学習に生かすと共に、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるよう配慮されている。 ・ 数学的に考える資質・能力を育成するため、数学的な見方・考え方を働かせて考える場面設定が多く、工夫されている。 ・ 学習を振り返って、よりよく問題解決しようとする創造的な態度や学んだ算数を日常生活に生かそうとする態度を培えるよう工夫されている。
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、イラスト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 発達段階に配慮し、学びの繋がりを重視した構成で、年間配当時数は標準時数よりも余裕を持たせた分量で構成されており、児童が学びやすくなるよう配慮されている。 (2) 全ての主問題に「めあて」と「まとめ」「復習」等が設定され、児童自らが見通しを持ったり、既習事項とつなげながら振り返って考えたりすることが習慣化できるよう工夫されている。まとめにつながるように展開がととも工夫されている。また、「めばえ」を位置付けることで、これまで学習したことなどを生かして、児童自ら問いや見通しを立てやすいよう配慮されている。 (3) 単元末の「やってみよう」では、日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動が取り入れられ、学習したことを算数や生活に生かせるとともに児童が算数に興味をもつよう工夫されている。 (4) 巻末の「もっと練習」では、補充問題や挑戦問題が多く掲載され、習熟度に応じて自学自習ができ、児童が繰り返し学習できるよう配慮されている。 (5) 書体は識別がしやすいUDフォントを採用し、配色は色覚の特性によらず児童が読みやすくなるように配慮されている。 (6) 児童が学習する際に、躓くことが予想される立式において、図を活用するなど十分な配慮が講じられている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) 全ての児童が学習する必修内容の「本編」と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート」との2部構成になっており、一人一人の学びに対応できるように配慮されている。 (2) 単元導入場面では「じゅんび」のページが示されており、既習事項を常に振り返りながら、身の回りのことから等から、新たな学習内容にスムーズに取り組めるとともに追究が主体的に進むように工夫されている。 (3) 単元間、学年間での学びのつながりを重視し、軸となる数学的な見方・考え方にマーカーを付して強調することで、働かせる数学的な見方・考え方について既習内容を意識した指導ができるよう工夫されている。 (4) 「学びのサポート」の「もっと練習」には補充問題、単元末の「やってみよう」には発展的な課題が掲載されており、児童の学習理解度に応じた指導に生かせるよう配慮されている。 (5) 探求活動を促すQRコンテンツが充実しており、図形を自由に動かしたり計算の仕方やコンパスなどの使い方などを動画で確認したりするなど、一人ひとりの学びをサポートする配慮が多数されている。また、利き手にあった動画を選択でき、児童の特性に合わせて指導できる。 (6) 単元末の「たしかめよう」では、問題の設定の意図と関連ページが示されており、指導と評価の一体化を図ることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が自ら問いをもち、見通しを立てて追究し、よりよい問題解決に向かうことができるようたいへん工夫されている。 ・ 児童が数学的な見方・考え方を働かせ、統合的・発展的に考えていくことができるよう工夫されている。 ・ 1学年のスタートブックの取り扱い項目が厚く、丁寧に学習を進めることができる

種目（算数）

<p style="text-align: right;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">日本文教出版（小学算数）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活や学習の基盤となる算数の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着できるよう工夫されている。 ・ 筋道を立てて考え表現するための学び方が示され、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう配慮されている。 ・ 生活や学習への活用場面のページを充実させることにより、算数の楽しさやよさを感じられるよう配慮されている。
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 単元前に「次の学習のために」を設け、関係のある既習事項を相互に結び付け、理解を深められるよう配慮されている。 (2) 「単元アプローチ」で日常事象を提示し、興味・関心を高めながら数理的に考える力を育成できるよう配慮されている。 (3) 「つかってみよう」や「算数ジャンプ」、「もっとジャンプ」で、他教科や日常生活と結び付けた総合的な問題を取り扱い、探究的な内容に取り組めるよう工夫されている。 (4) 単元前に「次の学習のために」を設け、次の単元に関連した既習事項の確認ができるだけでなく、働かせる数学的な見方・考え方を意識できるよう工夫されている。 (5) 「よみとろう あらわそう」で、数学的な表現を系統的に整理し、様々な数学的な表現を組み合わせ示すなど、学習した内容を児童が自ら整理できるよう配慮されている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 低学年では同じ領域の単元を分散的に構成している部分が多く、高学年は学習効率を考慮し関連する内容をまとめた単元の配列にするなど、児童が学びやすくなるよう配慮されている。 (2) 既習の内容を適用して、新しい知識を得ようとする場面では、既習との関連を「見方・考え方」で具体的に示し、統合的・発展的に考えられるよう工夫されている。 (3) 汎用的な数学的な見方・考え方と各場面に応じた具体的な視点を2段で明示し、児童が数学的な見方・考え方を働かせながら学べるよう配慮されている。 (4) 巻末の「算数マイトライ」では、「基礎・基本」「応用・発展」「探究」的な問題を豊富に設け、個々の実態に応じた学習指導がしやすいよう工夫されている。 (5) 挿絵や資料は、本文が具体的に捉えられるようなものを選定しており、問題場面を明確に把握・理解できるよう配慮されている。 (6) 「学び方ガイド」や「算数ノートをつくろう」に、その時間や単元の振り返りの仕方が明記されており、指導と評価の一体化を図ることができるよう配慮されている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した内容を活用する問題を位置付け、算数の世界の広がりや身近さを感じられるよう工夫されている。 ・ つながりのある単元や数学的な見方・考え方を明示し、児童が系統を意識し、筋道立てて追究できるよう配慮されている。